



DOUEN

社会福祉法人 恩賜財団愛知県同胞援護会 広報誌

vol. **434**
Summer
2025

特集

- サンホーム豊田における障がい者支援について
- 階層別研修／理事長・常務理事との座談会

TOPICS

- 合同福祉説明会『FUKUSHI MATCH』
- 施設間意見交換会



サンホーム豊田「藍染めでプレゼント作り」



サンホーム豊田における障がい者支援について

豊田市にある障害者支援施設「サンホーム豊田」では、知的障がいを持つ18歳以上の方を対象に施設入所支援・生活介護・短期入所の3つのサービスを提供しています。入所されている方は軽度から重度・最重度の知的障がいを持つ方までさまざまです。



知的障がいとは

発達期(おおむね18歳まで)において、知的機能の発達に遅れ(IQ70以下)があり、日常生活や社会生活を送る上で困難を抱える状態を指します。

強度行動障がいへの支援

入居者の中には、自傷や他害といった強度行動障がいと呼ばれる状態のケースが多数あります。そのようなケースに対しては、第3者の視点も取り入れるため外部のスーパーバイザーとの定期的な検討会を通じて支援策を検討しています。課題行動が起こった環境要因を分析し、特性などに基づき何度も対策を検討し、一つの課題ケースに半年ほどの期間をかけて支援を行うこともあります。



強度行動障がいの課題行動

他害行為 	こだわり 	器物破損
自傷行為 	大声・奇声 	異食

【強度行動障がい判定基準】

「ひどく自分の体を叩いたり傷つけたりする等の行為」や「激しいこだわり」といった種類別に頻度と強度という2つの側面から、さらに11項目ごとに評価(1点、3点、5点)を付け、合計得点が10点以上を強度行動障がいと定義しています。

【行動関連項目】

- ①コミュニケーション ②説明の理解 ③大声・奇声を出す
- ④異食行動 ⑤多動・行動停止 ⑥不安定な行動
- ⑦自らを傷つける行為 ⑧他人を傷つける行為 ⑨不適切な行為
- ⑩突発的な行動 ⑪過食・反すう等 ⑫てんかん

強度行動障がいの状態の人

「困った人(子)」ではなく「**困っている人(子)**」=合理的配慮が必要な人

【支援の3つの目的】

- ◆強度行動障がいの状態にならないよう**予防**することができる
- ◆強度行動障がいの状態を**軽減**できる
- ◆**社会参加**を進めることができる

障がい特性に合わせた日中活動

サンホーム豊田では、入居者の障がい特性に合わせてグループ分けを行い、それぞれのグループに合った支援を行っています。比較的障がいが軽度なグループでは、地域移行を目指し、お金の計算方法や日常生活に必要な掃除・洗濯などのスキル向上を目指す活動を行います。重度や最重度のグループでは日常生活に落とし込めるような動作を用いた自立課題(初めから終わりまで一人でやり遂げられるように設定された活動)に取り組み、できること(強み)を活かした支援に力を入れています。



終わりに

強度行動障がいの支援には確実な正解があるわけではありません。専門家でも「100%」うまくいくとは言いきれない世界です。一つのケースに対する支援には時間と専門的なアプローチが必要ですが、その取り組みによって入居者の不安や混乱が軽減され、安心して自分らしく生活する事ができるようになります。今後も職員一人ひとりが専門性を高め、チームと連携しながら実践を重ね、誰もが安心して暮らせる支援の在り方を追求していきます。

階層別研修／理事長・常務理事との座談会

階層別研修

法人では職員のキャリアアップ・スキルアップを目的とし「階層別研修」を実施しており、5月から7月にかけて下記の研修を開催しました。

- 5月21日(水)・22日(木) 「管理職研修」
- 6月12日(木) 「チューター育成研修」
- 7月10日(木) 「新卒フォロー研修」
- 7月15日(火) 「初任管理者基礎研修」

「チューター育成研修」は、今年度から一般社団法人トラストコーチングの森真貴子先生に講師を依頼し、グループワークを交えて楽しみながらコミュニケーションスキルや傾聴スキルについて学ぶことができました。



法人が実施する階層別研修

研修名	主な対象者
【新入職員研修】	新卒採用者
【新入職員フォロー研修】	新卒採用者
【中途職員受入研修】	中途採用者
【新人職員向け研修動画】	新卒採用者、中途採用者
【チューター育成研修】	3～5年目の非役職職員
【初任管理者基礎研修】	役職就任者
【管理者スキルアップ研修】	中堅役職者
【管理職研修】	管理職級職員

理事長・常務理事との座談会

チューター育成研修と合同で「理事長・常務理事との座談会」を開催しました。

①1年目の頃うれしかったこと、困ったこと

②自分が目指す上司像

③法人・施設への要望

というテーマで理事長・常務理事と職員が座談会形式で意見の交換を行いました。研修の一環として行うのは今回が初めてでしたが、予想以上に話が盛り上がり、時間が足りないほどとなりました。

職員のみなさんからいただいた意見は法人としてしっかりと受け止めてまいります。

直接職員の要望や悩みを聴ける大切な機会として、来年度以降も開催したいと考えています。



合同福祉説明会『FUKUSHI MATCH』

5月17日(土)、栄ナディアパークにて、「第2回県内社会福祉法人合同福祉説明会『FUKUSHI MATCH』」に参加しました。このイベントは、同じ愛知県内の社会福祉法人である昭徳会さま、福寿園さま、ダブルエッチジャーさま、知多学園さまと当法人を含め5法人合同で開催している学生さん向けの福祉フェアです。

3月に第1回を開催し、今回が第2回目。はじめは「学生さん来てくれるかな」と緊張しましたが、今回も無事たくさんの方にお越しいただくことができました。お会いした方々が一人でも多く5法人に就職していただけたらうれしく思います。

このイベントを通じて5つの法人が協力・切磋琢磨し、様々な福祉の魅力を学生さんに伝えることができています。また、一つの法人では難しいことも、他法人と連携することで可能になることを身をもって感じています。4法人の皆様、今後よろしくお願ひいたします。



施設間意見交換会

法人では令和5年度から特養、特定施設の介護課の責任者が集まり意見交換会を開催しています。その第6回目が7月14日(月)に開催されました。今回の主なテーマは「生産性向上について」「ノーリフティングケア進行状況について」「外国人職員がアルバイトから正規職員に移行する際の留意点」などでした。

生産性向上については、ほとんどの施設が今年度から取組みを開始しており、手探りの状態で進めています。職員アンケートから浮き上がってきた施設の課題や、実際に取組みを始めてから生じた疑問点について、それぞれの悩みを共有し、解決策を検討しました。

ノーリフティングケアについては、施設毎の機器の導入状況について報告しました。施設的环境や状況に応じて機器を導入していることから「この機器の使用感はどうか」「どのくらい活用されているか」といった質問が飛び交い、活発な意

見交換が行われました。たくさんの種類がある機器の中から自施設に適したものを選定するために、真剣な話し合いが行われました。

法人では福祉系の専門学校に通う留学生のアルバイトの受け入れを行っています。卒業後は入職してくださる方も多く、アルバイトから正規職員になることで、業務内容をどのように変更していくか、またどのくらいの期間をかけて移行していくか、どういった点に留意するかなど、既に受け入れている施設からアドバイスをもらいました。

普段は異なる施設で勤務しているため、なかなか集まることはできませんが、同じ立場の職員同士が悩みや情報を共有ができるこの意見交換会は、非常に貴重な場となっています。



職員

インタビュー



特別養護老人ホーム第2春緑苑

アディカリ マン クマリ

介護職員 ADHIKARI MAN KUMARI さん

○勤務年数を教えてください。

今年で3年目です。ネパール出身で、日本語や介護の勉強期間を含めると日本に来て6年程になります。

○福祉の仕事に就こうと思ったきっかけを教えてください。

ネパールでは家族介護が一般的で、介護の仕事に就く人は多くありません。私自身も日本に来て初めて介護士という仕事を知りました。介護士という仕事を知って、将来自分の家族を介護する際にも役立つと思いこの仕事に就くことを決めました。



○仕事のやりがいを教えてください。

家族から離れて日本で暮らしていますが、利用者さんが自分の子どものように接してくれてとてもうれしいです。たまに「あなたは外国人だから」ということを言われるこ

とがあり、認知症のある方だからとわかってはいますが悲しい気持ちになるときがあります。そんな時に他の利用者さんが「外国から来てこんなに私たちに良くしてくれているのになんでそんなこと言うの!」と怒ってくれます。みなさんとても優しく本当の両親のように感じることもあります。

○趣味や休日の過ごし方を教えてください。

飾り物を作ったりするのが好きです。他にも、別施設のネパール人職員の友達と集まって話をしたり、食事をしたりしています。



○将来の夢や今後の目標を教えてください。

まだ慣れないことも多いですが、一步步着実にレベルアップしてできることを増やしていきたいです。また、ネパールにはまだ高齢者福祉施設が少ないので、日本で学んだことを活かし、地元でこういった施設を建てたいという大きな目標があります。

のこったのこった～!



楽しい時間をありがとうございました!

特別養護老人ホーム春緑苑

どすこい! 心あたたまる力士とのふれあい

6月30日(月)、春日野部屋所属の力士さん2名が春緑苑を訪問してくださいました。

事前にポスターでお知らせしていた時から、相撲好きの利用者さんは大変楽しみにしていらっしゃる様子でした。

質問コーナーでは目をキラキラと輝かせ、マイクをしっかりと握って、力士さんに向かってお話しされていました。

「毎日の過ごし方は?」「好きなものはなんですか?」「得意技は?」と次々質問されていて、力士のお二人も技を見せてくださったりと大変楽しい会になりました。お二人の活躍が楽しみですね。

ケアハウス春緑苑

入居者さんと合同勉強会

6月25日(水)、管理栄養士による「食中毒予防」の勉強会を行いました。

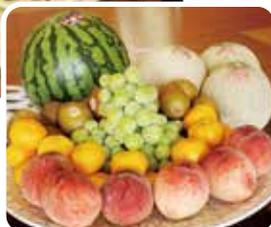
食中毒予防3原則『つけない・増やさない・やっつける』などの基本の他、「飲みかけで置いておくと、菌が増えやすいものはどれか?」などのクイズを元に栄養士が解説を行いました。

入居者さんからも「スポンジは熱湯消毒をすれば菌はなくなる?」「冷凍食品は開封していなければどれくらいもつの?」など、次々と質問が上がり、みなさん真剣に食中毒予防について学んでおられました。



みなさん真剣に取り組んでおられました

とってもおいしそう!



特別養護老人ホーム第2春緑苑

笑顔あふれるフルーツバイキング

7月11日(金)と18日(金)の2日間、「フルーツバイキング」を実施しました。

メロンやもも、みかん、マスカット、ゴールドキウイなど様々なフルーツが並ぶ中、特に目を引くのは丸々と大きくて立派なスイカで、利用者さんからも「すごいね～」と歓声が上がっていました。

色とりどりのフルーツを前にみなさん「おいしそう!」「どれにしようか迷っちゃう」と楽しそうに話され、目で見て楽しく、食べておいしい時間を過ごしていただきました。

ケアハウス豊田

やっぱり梅狩りは楽しい！

6月6日(金)、敷地内の梅が収穫時期になったので、恒例の「梅狩り」を行いました。

入居者さんは準備万端で気合も十分。梅の木をゆすって実を落とし、夢中になって拾っているとあっという間にたくさんの梅が収穫できました。

バケツ一杯の梅を前にみなさんとても満足そうで、作業終わりの休憩でも「何キロぐらい採れたかな?」「今年も粒が大きくてツヤがあるね」と笑顔があふれていました。

その日のうちに梅のヘタ取りも手伝っていただき、梅ジュースの準備もバッチリ。おいしいジュースで乾杯する日を楽しみにしています。

ゆすって落とすよー!



たくさんの梅が採れました



これからも職員一同体を張ってがんばります

東山デイサービスセンター

やってきました「東山ズッコケー座」

東山デイサービスセンターで大人気の職員グループ「東山ズッコケー座」。今年度からの新しいメンバーも加わり、今回も利用者さんに笑顔を届けるショーを開催しました。

マジックショーやバトンを使ったダンス、お馴染みの「マツケンサンバ」など様々な演目が披露され、利用者さんも一緒に参加して楽しんでおられました。

次々と披露される演目に利用者さんも大笑いで、あっという間の楽しいひとときとなりました。

若草苑

災害時に備えた調理訓練

6月24日(火)、利用者さんと職員合同で「災害シミュレーション訓練」を実施しました。

訓練の内容は災害時用炊き出しセットの準備と、それに用いるテントの設営、非常食(五目飯)の調理です。実際に災害用炊き出しセットとテントを設営してみて、利用者さんからは「運ぶのが大変」「夜間は人が足りないかも」などの意見があがりました。

お湯を注ぐだけでできる非常食ごはん「アルファー米」の調理では、お湯を注いで15分蒸らすだけであっという間にご飯が完成し、「おいしい」「おかわりしたい」と味も好評でした。

こういった訓練を通じて、災害時に何ができるのか一人ひとりが考えるきっかけになればと思います。

非常食とは思えないおいしさ!





愛情を持ってお世話しています

特別養護老人ホーム第2とよた苑

笑顔咲く HSS ガーデン

利用者さんの憩いの場になればと思い始めたのが、『HSSガーデン』とユニット名をもじって名付けた園庭ガーデニングです。

利用者さんが作業しやすいようにプランターを机の上に置いたり、水やりしやすいようにじょうろではなく桶を使用したりと様々な工夫をしています。



現在はマリーゴールドやミニひまわり、ダリアなどが咲きそろい、たくさんの利用者さんが見に来られたり、ご家族との面会の場になっていたり、交流の場として活躍しています。

今後いろいろな花を育てて、季節の彩りと自然と触れ合う時間を提供していきます。

特別養護老人ホーム保見の里

五平餅を食べよう

5月19日(月)、五平餅を焼いて利用者さんに召し上がっていただきました。

中部地方の郷土料理である五平餅は利用者さんにとっても馴染みの味で、焼き立ての香ばしい五平餅を召し上がっていただくと「久しぶりに食べるわ」「おいしい」とみなさん懐かしい味を楽しまれていました。

大きなお口を開けておいしそうに五平餅を頬張る利用者さんの姿が微笑ましく、心温まる穏やかなひとときを過ごすことができました。

大きなお口でパクリ!



ジュンジュンジュンジュン



特別養護老人ホーム大府の郷

初夏のお楽しみ

大府の郷では、毎年初夏に「フルーツバイキング」を行っています。スイカやぶどう、メロン、モモなどの季節の果物の他、抹茶ケーキやティラミスなど豊富なデザートメニューをご用意して楽しんでいただきました。

利用者さん一人ひとりが食べたいフルーツやスイーツを選び、隣の方とうれしそうに見せ合って「カラフルだね」「おいしそうだね」とニコニコと話しながらか召し上がっていました。

次回はどんなメニューで楽しんでいただこうかと、ワクワクしながら考えています。

春日苑

楽しいお買い物

5月21日(水)、株式会社山成様のご協力で「衣類販売」を実施しました。

衣類販売は多くの利用者さんが楽しみにされているイベントで、当日の朝からワクワクと待ちきれない様子の方が大勢いらっしゃいました。

食堂にたくさんの夏服が並ぶと、利用者さんは真剣そのものといった表情で気になる服を見比べたり、好きなキャラクターの服をうれしそうに探したりする方もおられました。

やはり実物を見ながらの買い物は楽しいようで、気に入った洋服を購入してとても満足されていました。

う〜んどれにしようかな



ワーカー鷹来

今年も来たよ！キッチンカー

保護者会主催のイベントで、今年もキッチンカーに来てもらいました。

今回のメニューはケバブサンドとフライドポテト、トルコ風アイスです。名前を聞いたことはあるけど「実際に食べるのは初めて」という利用者さんが多く、みんなで当日を楽しみにしていました。

スパイスの効いたケバブサンドにかぶりつき「おいしい！これは初めて食べた」と笑顔で頬張る方や、トルコ風アイスを見て「なんでこのアイスは伸びるのかなあ」と不思議そうな表情を浮かべる方もいらっしゃいました。

アイスを伸ばした際にスプーンが折れてしまうなどの微笑ましい場面もあり、みなさん笑顔で食事を楽しまれていました。

トルコ風アイス食べるよ〜！



サンホーム豊田

家族の日にプレゼント

6月9日(月)、父の日と母の日を合わせたサンホーム豊田独自の記念日『家族の日』のイベントを開催しました。

『家族の日』ということで、利用者さんからご両親への感謝の気持ちを込めて、藍染めのハンカチと巾着を手作りました。

輪ゴムの絞り方によって模様が変わるため、制作中は「どんな模様になるかな?」「喜んでもらえるかな?」とみなさんワクワクしながら取り組まれ、一つひとつ味わいのある作品が完成しました。

ご家族のみなさんへの心温まる贈り物が完成し、みなさんとてもうれしそうにしておられました。

完成しました〜！



素敵な色に染まるかな?



大きくなあれ

さくら保育園

コスモスの種を植えたよ！

新しい学年が始まり、少しずつ園での生活にも慣れてきた年少さんの子どもたち。6月にはみんなでコスモスの種を植えました。

保護者から種の植え方を聞くと、真剣な表情で耳を傾け、一粒一粒丁寧にまいていきました。種をまいてから数日後、土から芽が顔を出すと「芽が出たよ!」とうれしそうに友達や保育士に教えてくれる姿も見られました。

毎日の水やりや観察を通して、植物の成長の喜びに触れている子どもたち。秋にはきれいな花が咲くことを楽しみに、心を込めてお世話を続けています。



水やりも忘れずにね



大きくなってきた!

さくら第2保育園

英語で遊ぼう！

さくら第2保育園では、月に2度ほど、3歳児から5歳児を対象に「英語教室」を行っています。

英語に触れる機会を作り、興味を持ってもらいたいという思いで開催しているこの教室は、先生の楽しいおしゃべりや音楽、ダンス、手遊びといった子どもに飽きさせない内容で楽しみながら自然と英語に親しむことができるようになっていきます。

始めは慣れない英語を話すのが恥ずかしくて下を向いていた子も、今では楽しそうに大きな声でお話しています。教室の後には覚えたての英語を話しながら「楽しかった!またやりたい」とうれしそうに話す姿も見られます。

年長組の園児たちは発表会で英語の歌を披露することを目標に、楽しみながら一生懸命練習に取り組んでいます。

これはなんてアルファベットかな？



楽しく体を動かすよ〜♪



七夕会



春緑苑

園児たちの訪問に利用者さんも大変喜んでおられました♪



とよた苑

恒例のスイカ割りで大盛り上がり！



第2とよた苑

たくさんの星が輝くフォトスポットです



第2春緑苑

織姫・彦星と一緒に



春日苑

釣りのゲームで楽しみました！



大府の郷

願い事が叶いますように☆



若草苑

七夕には流しそめん♪

七夕の願い事

ダイエットがんばるぞ

息子の反抗期が
終わりますように

高速道路の運転が
できるようになりたいです

利用者みなさんが
楽しく過ごせますように

おしゃやさんに
なれますように

かめんらいだーに
なれますように

あいすくりーむが
いっぱい食べられますように

でんぐりがえしが
じょうずになりますように

キンキキッズに
出会えますように

恋愛したい！
彼氏ができますように

お寿司とウナギが
食べたい

娘とたくさん話して
たくさん笑いたい

家族が元気に
過ごせますように



支えていただいた方々

令和7年4月～6月(敬称略、順不同)

春緑苑

寄付金
 前川実香
 渡辺由加
 前川実香
 山本浦子
 松岡峰雄

ボランティア
 一ノ谷君子
 赤坂千秋
 赤坂智絵
 近藤登美子

とよた苑

ボランティア
 じっくり傾聴チーム

保見の里

ボランティア
 藤井玲子
 中條ひとみ
 荒川さつき
 毛受秀子
 中條厚子
 市川貴代美

第2とよた苑

寄付物品
 本多孝光
 森眞美子

ボランティア
 中條ひとみ
 中條厚子

市川貴代美
 毛受秀子
 荒川さつき
 藤井玲子

春日苑

寄付金
 有田作太郎
 伊藤光江

ボランティア
 組紐教室 林先生 小林先生
 酒井カイロプラクティック

ワーカー 鷹来

ボランティア
 立山哲男
 風間公一
 安藤八栄美
 小平嘉津子
 稲谷珠江

東山デイサービスセンター

ボランティア
 さわやか
 ポコアポコ
 津軽三味線盛り上げ隊
 グランマゆき
 ボンダンス
 ハートフルライブ
 ショーワサウンド
 オカリナ風車
 ブルーハワイアンズ

ころころ座
 柏会
 殿姫ちんどん
 かすみ草
 美里拳母音頭保存会
 マジッククラブ
 ミッケ
 COCO&白ちゃん
 篠笛ユニット-yui-

サンホーム豊田

寄付物品
 高木禎直
 深津久美子
 中島利津子
 尾崎慎也

ボランティア
 藤原弘美
 浅野修司

大府の郷

ボランティア
 ギター愛好会
 春夏秋冬
 どんぐりハーモニー
 しあわせ劇団
 ブルームーン
 オカリナ囀鳴

施設の1枚

各施設のInstagramから素敵な1枚をご紹介します



第2とよた苑「ピザ窯で手作りピザ」

第2とよた苑にあるピザ窯で焼いた本格ピザ!
 モチモチの生地にチーズがとろけてとってもおいしそう
 ～♪利用者さんも大喜びでした。



@DAI2TOYOTA.HOMI_DOUEN

こちらからも
ご覧いただけます

職員エッセイ

春日苑 生活支援員 仙石大樹

梅雨や暑い時期になると『寝付くまでに時間がかかる』『眠りが浅くて夜中に目が覚める』ことがよくありました。お医者さんに相談してみたところおススメされたのが“睡眠日誌”をつける習慣です。

睡眠日誌は睡眠の質やパターンを知るための方法の一つで、自分の睡眠習慣を振り返って問題点や改善点を見つけるために役立てることができます。日々の睡眠の時間や起床時間、途中で目が覚めた回数、寝室の環境、食事や運動の状況などを記録し、続けることで睡眠の質に関する傾向やパターンが見つかります。自分の睡眠習慣や生活習慣に関する問題を特定しやすくなるので、睡眠の質が低いと感じている方は一度試してみてもいいかもしれません。

ちなみに私はスマホのアプリを使用して記録していました。今は寝つきのパターンが分かってきたのであまり使用していませんが、やはり睡眠は大事です。毎日しっかり寝て元気に過ごしましょう。



社会福祉法人 愛知県同胞援護会

法人本部 〒487-0031 愛知県春日井市廻間町703-1
 TEL:0568-88-8302 FAX:0568-88-0306
 E-mailアドレス:info@douen.or.jp
 HPアドレス:https://douen.or.jp

